

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校  
TEL 048-831-5397  
FAX 048-835-1357  
**第 11 号**

校訓  
学校教育目標

「歴史を拓く」  
はつらつとした生徒、地域に輝く学校

令和 2 年 2 月 28 日 (金)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 「校長心の授業 いまが大事! [最終号]」 - 卒業・進級に向けて -

校長 小林 広利

いよいよ卒業の時期となってまいりました。3年生の皆さん卒業おめでとうございます。中学時代の3年間、笑い、泣き、大いに成長しました。生徒会や委員会活動等、多くの皆さんが生活しやすい学校への取り組みを進めました。体育祭・駅伝競走大会・部活動など、多くの場面で学校のリーダーとして全校をひっぱり、修学旅行や合唱コンクールでは、学年・学級の絆の素晴らしさを示してくれました。保護者・地域の皆様に支えられ、成長した3年間にたくましさを感じます。今、校長室前には、卒業記念品の銘木『校訓 歴史を拓く』が飾られています。今後は、3年生の背中を追いかけ成長してきた2年生・1年生の皆さんが、大原中学校のよき伝統を立派に引き継いでくれることでしょう。

さて、校長心の授業を続けてきた今年度の最終号にあたり、先日の授業(02.02.03実施)にて、全校生徒の皆さんに話をした「自立」についてももう一度考えてもらいたいと思います。

自分をコマに例えてみます。バランスが悪いとコマはうまく回りません。芯がずれていても芯が細くても回りません。大原中ではGrit(やり抜く力)を授業、行事、部活動等すべての教育活動の中心に据えました。人間性豊かで、あいさつをはじめ6つの行動目標が実践でき、やり抜く力をもった人間として自立してほしいと願ってのことです。

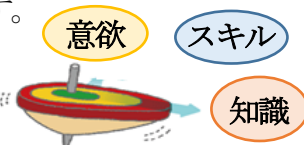
社会に出て歩む道は、学生時代よりでこぼこ道です。道らしき道が見当たらないこともあるでしょう。学生時代には正しいと思うことにはどんどん挑戦し、成功・失敗を繰り返しながら学んでください。それが、自立に向けた勉強方法だと思います。また、思いやりの心も大切です。お互いに背中を向けてしまえば、友達との距離は地球一周分となってしまいます。これでは、せつかくの学生生活が楽しくありません。自分の気持ちを素直に伝え、相手の気持ちも受け入れ理解する。笑顔を忘れず、ごめんね!が言えるあなたはとても素敵です。

これからの人生、あせらない、でもあきらめない。ライバルは常に昨日の自分であり、未来は今日の自分の中にあります。3年生の皆さん、さあ大原中を飛び出して、歴史を拓きましょう! 2年生・1年生の皆さん、感謝の気持ちを忘れずに、大原中の歴史を自分たちでさらに刻み込みましょう!

最後に、卒業生・在校生の皆さんへ校長先生から次の言葉を贈ります。

『本当に大切なこと!それは、これからも自分を信じ、一步一步進むこと!』 応援しています。

意欲・知識・スキル・思考・表現など  
バランスが悪いと回らない。



コマの芯は、人間性  
豊かな心 Grit 6つの行動目標



道がでこぼこでも  
回ることができるようになろう

[ずれるとグラッ 細いとボキッ!]

[社会に出ると学生時代  
より 道は でこぼこ]



他人と同じでなくてもいい  
個性あふれる 自分なりのコマ



[ごめんね!が素直に  
言えるととても素敵です]

